



第149回

# 華人研セミナー

8月20日(土)

開催時間 午前10時～12時

仮題

## 蔓延る中国崩壊論の虚実を読む

5年前の「華人研での江上報告」再検討

話題提供者

江上志朗氏 (えがみ しろう)

元 読売新聞上海支局長

概要：

上海市のロックダウン（都市封鎖）や中国不動産大手の債務不履行（デフォルト）が相次ぎ、中国経済の行方が危ぶまれています。2022年4～6月期のGDP成長率は0.4%となり、中国共産党・政府が掲げる年間成長率目標の5.5%には届かないことが確実視されています。中国はやはり、このまま停滞が続き、崩壊の道へと向かうのでしょうか。私の個人的な見解では、中国は少なくとも5年前に比べれば成長していると思っています。GDPは2017年の83兆円から2021年は113兆円に3割増加。平均賃金は2021年には初めて10万元（200万円）の大台を突破し、この5年間で4割近く上昇しています。今回の報告では、5年前に行った報告を検証する形で、悲観的でも楽観的でもない中国の今の姿を浮き彫りにしたいと思っています。

略歴：

1967年生まれ、三重県松阪市出身  
1992年 日本大学国際関係学部卒  
(中国ジャーナリズム論専攻)  
同年 読売新聞東京本社入社。98年から国際部記者  
2001年 読売新聞上海支局長  
2003年 共同通信グループNNA入社  
The Daily NNA 中国総合版編集長、本社東アジア部長  
2016年 NNA退社後、上海から帰国。17年6月に華人研で報告。  
2020年 三重大学大学院教育学研究科日本語学専攻修了  
同年より名古屋市内で国内外の調査業務に従事

共著： 「日中関係は本当に最悪なのか～政治対立下の経済発信力」  
「日中対立を超える『発信力』」（いずれも日本僑報社）等

趣味： クラシック音楽鑑賞（8/21は長野県松本市でオペラ鑑賞予定）



- 会場 大阪市立総合生涯学習センター（大阪駅前第2ビル6階）第2研修室  
〒530-0001 大阪市北区梅田 1-2-2-500 大阪駅前第2ビル5・6階  
【TEL】06-6345-5000(代表)
- 定員 40名（先着順で受け付けます。満員になり次第締め切ります。）
- 申し込み メール連絡のみ 事務局メールアドレスまでご連絡ください。  
sec@kajinken.jp
- 参加費 2000円（セミナー後の飲食は有りません。）

